

新しい時代の創造

上高井教育会長 市川 貞夫



第182号

発行所 上高井教育会
発行人 上高井教育会長 市川 貞夫
編集人 会報編集委員 長 市川 武彦
印刷所 須坂新聞社

この度、先生方からのご推挙により、平成十一年度の教育会長を務めさせていただきましたことになりました。何分にも浅学非才の者でありますので、皆様方のご協力をいただきますが、その任を果たして参りたいと存じております。何とぞよろしくお願ひ致します。

さて、伝統ある上高井教育会も、明治十八年（一八八五年）の創設以来、一四四年の時を刻んでまいりました。会員はもとより、この教育会を築き上げてこられた先達の先生方、ともどもにご同慶に耐えないところであります。

前年、平成四年度（一九九二年）の学習指導要領改定で新設された生活科は、その目標とするところを、生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ自立への基礎を養うとしています。そして、今回、小学校三年生以上に創設される総合は、自ら課題を見つけ自己の生き方を考えることができるとなっています。

児童生徒が、自らの課題を見つけるといっても、なかなか見つかるものではありません。何もないとところからは何も生まれません。そこで、まず、担任の方から、児童生徒の実態に即しながら、こんな内容の学習をさせたいという分野を決め出します。国際理解、情報、環境、福祉・健康等いろいろあります。

先にも述べましたが、総合的な学習の時間の究極のねらいは、課題を見つけ、解決し、自己の生き方を問うことです。なお、実施に当たっては、

- 4・1 選挙公示（役員選挙）
- 4・2 第1回代議員会 第2回選挙管理委員会
- 4・3 理事長選挙 第3回選挙管理委員会
- 4・8 第2回代議員会 第4回選挙管理委員会
- 4・9 副理事長・理事・信教常任委員 信教代議員選挙
- 第5回選挙管理委員会
- 第1回常任委員会
- 4・14 教育研究会三団体発足会
- 4・15 教育会会計監査会
- 4・19 第3回代議員会・新任者会員歓迎会（新任者会員7名）
- 4・26 第6回選挙管理委員会
- 4・27 監事選挙 第7回選挙管理委員会
- 4・30 同好会発足 同好会世話係・会長会（於須坂小）
- 5・6 第2回常任委員会
- 5・10 研究総委員会（研究世話係・委員長会）
- 5・15 教育会定期総会・講演会（於市役所西館）

- 6・1 第1回研究小委員会
- 6・3 第3回常任委員会
- 6・22 第4回代議員会
- 7・2 谷川彰英先生事前ご指導（於豊丘小学校）
- 7・9 谷川彰英先生ご指導 社会科（於豊丘小学校）
- 7・23 上高井教育会報182号発行

合的な学習であるといってもよいでしょう。さりとして、私も現場にあって、ほとんど経験のないこの学習を進めていくに当たって、苦慮すべき点がいくつかあることに注視していかねければなりません。まず、学習指導要領に明確な内容の規定がないということです。そして、文部省版の解説書がないということ。また、教科書もありません。結局のところ、先進校の実践に学びながら、自校に適した教育課程を開発していくことになりました。

総会の折り、中心講師の谷川彰英先生からご講演をいただきました。今こそ、先生方のアイディアが生かされる時であるということでした。どうか、先生方の一層のご努力をご期待申し上げ、私のご挨拶と致します。

（森上小）

教育会だより

- 6・1 第1回研究小委員会
- 6・3 第3回常任委員会
- 6・22 第4回代議員会
- 7・2 谷川彰英先生事前ご指導（於豊丘小学校）
- 7・9 谷川彰英先生ご指導 社会科（於豊丘小学校）
- 7・23 上高井教育会報182号発行

「ユーモアがあつて授業を飽きさせない先生」

研究委員会会長 重倉 紘一

「あなたは、どんな先生に教えてもらいたいと思いますか。」の質問に対して、小学生の実に五二・一％が「ユーモアがあつて楽しい授業をしてくれる先生。」と答え、中学生に至っては六七・五％全体の2/3以上の生徒が「ユーモアがあつて授業を飽きさせない先生。」を選択している。

これは、平成十一年二月に長野県教育委員会が県内の六％の児童生徒を抽出して調査しまとめた「児童生徒の生活・学習意識実態調査」によるものです。

この項の「考察・留意点」には、(ア)児童生徒の授業に対する期待は非常に大きいものがあり、教師側の授業改善の工夫により、児童生徒の力を大きく伸ばすことが可能であることを示している。(イ)教師の資質を高めるために、授業を互いに見合ったり、児童生徒を複眼的見地から考えたりして、指導方法の研究を今後にも充実させたい。その中でも、互いの児童生徒への接し方や学級経営を高め合える教師間の人間関係を高めることも大事であると記されている。全く同感である。

先の上高井教育会総会での豊洲小学校の勝山幸則先生のビデオを使った「本気の中のひびき合い」の実践発表は好評で、「ユーモアに富み先生の真剣な姿が聞く人に伝わってきた。」「もっと長い時間お聞きしたかった。」等たくさんのお感想が寄せられた。各研究委員会の小委員会の活動の中などでも、もっとビデオ等も活用して、このようなお互いの実践発表を基に、会が進められたら、授業改善が進むだろうし、更に学校の枠を超えた教師間の人間関係も深まるのではないかとさえ思つた。

「自ら課題をもって追究し、学ぶ喜びが味わえる授業」をテーマに掲げ、三年次を迎えるが、今年度は社会科の研究委員会で、中心講師の谷川彰英先生に、豊丘小学校の六年生の学級で、児童に直接授業をしていただくことになった。

これは、教師の生活が近ごろ忙しいということ、授業研究会が疎まれる傾向にあるが、授業研究は教師の本務であり、授業研究を通して、教材の理解を深め、子供の見方や接し方を工夫し、自らの授業改善の努力を怠ってはならない。

私の故郷の先生方、子供達が内に持つエネルギーをもっと引き出し、もっと活気に満ちた授業を目指して、お互いに頑張ろうじゃありませんか。そのために、もし先生方が望むなら、小学生とは、半世紀近く年の差がある私ですが、私が自ら授業を試してみようという谷川先生の思いの現われのように感じ取れます。大学教授が小学生に体当たりするような授業をしてください。このエネルギーに負けないう、今、県下の児童生徒が望む教師の理想像「ユーモアがあつて授業を飽きさせない先生を」目指し努力したいものです。(仁礼小)



谷川先生の授業に学ぶ

社会科研究委員会委員長 牛山 通高

本年度、社会科研究委員会では、七月九日全体講師谷川彰英先生に、豊丘小学校六年生の大和先生の学級で授業公開を行なっていただく。谷川先生は、「参加型の授業に取

り組んでみたい。」と熱く語られていた。また、授業研究会も参加された先生方全員が積極的に考えを語れるように工夫していききたい。全体講師

先生は、「子どもの姿を通して、谷川先生の理論をより深く学びたい。」

学校名	氏名	視察目的	視察方面	実施予定
須坂小	綿田由紀子	聞く話す読む等音声言語の力を高める授業のあり方	東京方面	未定
栗が丘小	西澤 朋子	道徳授業に再現構成法を取り入れた授業参観と研修	千葉大森小	10-11月
豊洲小	海沼 章	奈良女子大学付属小の公開授業参観と研究会参加	奈良女子大	10月
豊洲小	青木 秀一	算数科教育の現状と課題を授業参観と研究会で研修	東京方面	7月
墨坂中	寺島 寿一	数学科で考える「総合的な学習」について学ぶ	関東方面	10-11月
墨坂中	三石 雅幸	部活動の取り組みの先進校の状況見学と研修	新潟県	10月
高甫小	山岸 信之	子どもの社会事象に対する見方考え方を深める指導	千葉県	10月
井上小	武井 洋子	これからの音楽教育のあり方 ワークショップ等	筑波方面	2学期中
小布施中	小林 誠	子どもが追求する授業参観と研究会参加の研修	静岡県	10月
小布施中	黒岩 和男	総合的な学習を实践する先進校の視察研修	関東方面	11月
日野小	西澤 直記	総合的な学習の構想(インターネット活用方向)の研修	上越方面	未定
日滝小	赤沼 陽子	体育科授業参観と研究会参加	安東小学校	11月頃
相森中	小山 修二	「総合的な学習の時間」の実践校視察研修	関東地区	1学期中
高山中	野口 清二	総合的な学習を实践している先進校の研究会参加	上越教育大学	5月21日
高山小	中原 功博	堀川小の公開授業「個と歩む」参観と研究会参加	堀川小学校	6月2・3日
高山小	関 千保	堀川小の公開授業「個と歩む」参観と研究会参加	堀川小学校	6月2・3日
高山小	百瀬 知佳	総合的な学習の实践を視察して学習指導のあり方の研究	安東小学校	11月
森上小	鈴木 昭久	音楽の楽しさを見いだし喜んで表現する子どもの育成	関東方面	11月15日
森上小	山崎 会理	総合的な学習のとらえと展開のあり方について研修	新潟方面	2月17日
旭ヶ丘小	藤沢 隆之	日本生活科教育学会第8回全国大会栃木大会参加	宇都宮大付小	6月26日
旭ヶ丘小	花形 敏郎	初等教育研究大会参加研修～教育課程の編成Ⅱ～	新潟大付小	12年2月
小山小	祢津 賢司	総合的な学習のあり方について先進校の实践を視察研修	北陸方面	11月
仁礼小	田原 克彦	総合的な学習の実践校の研究発表から学ぶ	未定	未定
仁礼小	山田こずみ	総合的な学習の実践校の研究発表から学ぶ	未定	未定
東 中	片桐 秀一	地域を生かす総合的な学習を实践している学校参観	関東方面	10月

も、研究テーマ「子どもが社会事象に関心をもち、粘り強く課題を追究し、その子なりの見方考え方を深め、喜びを味わえるための指導のあり方」調査活動を通して、課題を解決していくための力を育てる指導のあり方への実践を積み重ねていきたい。

十一月の研究日には、七月の授業で学ばせていただいたことをもとに、研究テーマにそって各学校で実践してきたことをレポートにし、研究内容にそって分科会を設定し、テーマにそって分科会を深めたいと小委員会検討中である。

指導要領移行期が目前である。教科・領域・「総合的な学習」をどのように考えるかだけでなく、実践する時期で、指導要領改訂に関わらなれないような姿で向かい、何をしたい力と考えていられるかを授業を通して学び合えることを何よりの財産と考えている。

多くの先生方の参加によって、子どもたちの目から教育のあり方を学び合える機会となることを願っている。

(須坂小)

一芸に徹し感性を磨く

同好会会長 小池 勝雄

本年度の同好会は、二六三名の全員参加により、十五の同好会をもって発足しました。教育会々員比は八六％である。同好会に加入して頂いた先生方は、自分の専門分野をさらに深めたい。また、情報を得ることによって自分の専門分野の幅を広げたいなど、いろいろな願いをお持ちのことと思います。

孔子の教えの有名な「大学」の一節に「一知に致すは、物を格(いた)すにあり」とありますがこれは、実際の事物に当たって知を開き、事理を窮めるといふことだと思えます。

ともすれば日常の教育実践に忙殺されているうちに時間が過ぎ去ってしまうことが多い日々ですが、積極的に同好会や研究会に参加し、自分への刺激材として、孔子の教えのように専門性を高め感性を磨きたいものです。感性は、確かな事理を窮めることにより身につくものだと思います。私にとって同好会とはと振りかえってみると、若いころは、理科が主免ということもあって教育センターや信教の講習会やこの郡の同好会の実験講習会・動植物の観察会などに参加してきました。特に長野県天文気象教育研究会では先輩の実践や研究を参考にし

音楽同好会

中澤 雅子

音楽は世界の共通語。言葉を超えて、人と人、心と心を結ぶもの。美しいものを美しいと感じ、楽しいリズムに体が動き出す、そんな心や体を持ってほしい。

今年度、音楽同好会は21名でスタートしました。音を通じて響き合うことの楽しさや、心地良さを知っていると、求めていく仲間です。二月のミニコンサートに向けての練習を中心に、活動していきたいと思えます。

本校の宝②⑥

百周年の贈り物 豊洲小学校

本校の宝って何だろう？

「記念庭園もいよいよね」「飛翔のブロンズ像も：」「不屈不撓の石碑も：」等々をあげていった。調べてみると全て本校創立百周年を祝って贈られ、造られたものであった。

本校は、明治二十三年に豊洲尋常小学校として開校され平成元年に創立百周年を迎えた。この百周年事業は、三年の歳月をかけ、卒業生、地域の方々の協力により盛大に挙

他に、打楽器講習会を行いました。打楽器奏者の寺田由美先生から、小中学校で使われる様々な打楽器の正しい奏法、指導のポイント、メンテナンス等幅広い内容を丁寧な教えていただき、合奏指導に役立てることができました。

小学校の先生方を中心に、多くの方に参加していただくこともうれしいことでした。打楽器は、誰がたたいても音は出ますが、たたき方ひとつで音色が大きく変わること驚かされました。同じグロッケンを、同じばちでたたいて

百周年の贈り物 豊洲小学校

豊洲小学校

行された。現在、形に残っているものだけみても当時の人々の苦労と学校によせる地域の人々のなみなみならぬ思いをうかがい知る事ができる。

その中の一つ不屈不撓の石碑の裏には、学校の沿革と共に、次の様な文が刻まれている。『幾多の災害にもめげず営々と豊かな村づくりを励んできた先人の精神を、次代を担う子どもたちにもという願

いがこめられている。』水害の多い豊洲だが、今は

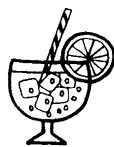
てみたのですが、参加者一人一人、皆、音色が違うのです。テクニクの大切さと共に、よい音を知る耳を持つこと、それも求めようとするこの大切さを感じました。先生の演奏されたマリリンバの豊かな響きや、グロッケンの澄んだ音色が、今も耳に心地良く残っています。

音楽同好会のミニコンサートは、平成三年度に始まり、今年度九回目を数えようとしています。

年に一度のこの機会を、私たちは、自らの研鑽の場、また同好会員の親睦を深める場として大切にしていきたいと思っています。私たち自身が音楽をつくり出す楽しさや、難しさ、ステージに立ってお客様に聴いていただくことの緊張感を忘れずにいたい。それを、子どもたちとの音楽活動にも生かしていきたいと思えます。

今年度は二月十三日(日)にメセナホール(小ホール)で行う予定です。例年、会員によるソロ、アンサンブル演奏と、合唱で構成しています。今年度はこれから選曲、練習していきます。合唱は、多くの方に一緒に歌っていただけたらうれしく思います。ホールいっぱい、歌声を響かせましょう！

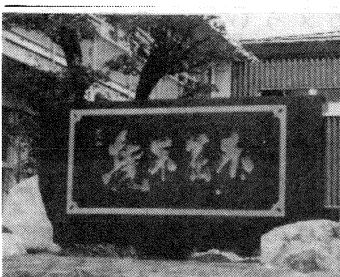
(日野小)



記念碑

豊かなりんご園が広がり、遠く北信五岳が見渡せる美しい自然環境の中に建つ本校。校門をくぐるとこの碑が子どもたちを迎える。この精神を子どもたちと共に学び、子どもたちの心のなかに、創立百年に寄せた地域の人々と卒業生の思いとともに脈々と流れそして受け継がれることを祈りながら…。

(和田 哲雄)



火ばら 談義



小布施中 酒井先生

合掌

篠原 賢朗

「手を合わせましょう。
いただきます」
「いただきます」
私のクラスで毎日繰り返される光景です。
給食が始まるいちばん幸せな瞬間です。

私はもうそろそろ子どもたち
ちに話してあげなくてはいい
ないなあと思っています。
それは、手を合わせるとい
うこと。
ランチルームで、全校児童
が給食を食べる学校がありま
した。
そこでは全校児童に合掌を
させます。
それを見て、なんとすごい
ことをやらせる学校だろうと
驚きました。また、なんて宗
教に対して寛容な地域なんだ
ろうと感心しました。

学校側は、宗教的行為を強
制させたとして、その責任を
問われる判決がされました。
また、他のいくつかの裁判
でも同様の判決がされていま
す。

私のクラスの子どもたちは、
幼稚園、保育園の頃から、手
を合わせて「いただきます」
をやってきたそうです。
これからは、こう言うんだ
よ。
「手を合わせたい人は手を
合わせましょう。
十字をきりましょう。
十字をきりましょう。
聖地に向かって礼拝したい
人は礼拝しましょう。
自分のやりたいスタイルで
ご自由にあいさつしましょう。
いただきます。」
(須坂小)

センチメントと中年

堀田 実

子供の頃から視力だけは自
信があったのに老眼になって
しまった。老眼鏡をかけるよ
うになると涙腺がゆるむとい
うのは本当である。「鉄道員
(ぼっばや)」の本を読んだ
り、映画を見て泣いた。ただ
駅を守ることに一筋に、愛娘の
死にも、愛妻の死にも立ち合
わず駅に立つ愚直な男の生き
方は若い時にはわからないだ
ろうと思う。愚直が首尾一貫
しているからこそ滑稽であり
美学なのである。「黙って死
んでいく」というものいいと
思うのは中年である。正義と
いう名の情熱の筋を通すほど
若くもなく、「若い時の正義
など何ほどのことか」と思う
のは中年である。そうかと言
って気に食わない他人にも優
しさを示すほど余裕もないの

学校から見える風景

市川 哲男

高山小学校からの景色を紹
介したいと思います。
東側には、山田温泉スキ
ー場、そして中倉山などの山々
を見るのができます。紅葉、
雪景色、新緑と季節の変化を
楽しむことができます。ちょ
うど渡り廊下から見ることが
できるので、ちょっと立ち止
まって一枚の絵を見るように
眺めることができます。
西側には、遠く須坂市、長
野市を望むことができます。
日差しに当たり様々な建物が
細かく反射して見えます。特
に大きく反射して光って見え
るのがMウェーブです。大き

も中年である。
私は田中角栄のような人が
好きである。コンピューター
がついたブルドーザーだから
ではない。あの角栄さんがあ
んな甘い「哀愁」という映画
が好きだったというのである。
小沢一郎のような人が好きで
ある。剛腕だからではない、
一郎少年は純愛小説「野菊の
墓」を読んで「晩中泣いたと
いうのである。石原慎太郎は
あまり好きではなかった。し
かし知事室に弟裕次郎の絵を
かけていると聞いて好きにな
った。みんな気骨ある政治家
なのにセンチメンタルなので
ある。
Every morning is beautiful.
You are too young to know.
(朝はいつも美しい。あなた
は若すぎてそれがまだわから
ないんだわ)」という映画の科
白である。「生きる美しさは
若い人にはわからないわ」と
いうのである。老眼でもセン
チメントのわかる中年はいい
ものだ。
(墨坂中)

編集後記



新たな気持ちでスタートし
た平成十一年度の一学期も、
残りわずかとなりました。
お忙しい中、原稿をお寄せ
くださった先生方、本当にあ
りがとうございました。
本年度は、次のメンバーで
会誌・会報をお届け致します。
委員長 市川 武彦(東 中)
副委員長 永井 茂富(日野小)
委員 柳原 孝子(高山小)
中西 裕一(日滝小)
中沢由紀雄(小山小)
藤澤 隆之(旭ヶ丘小)
山浦あつ子(小布施中)
岩知道純子(相森中)
竹田 肇(常盤中)
山岸由美子(東 中)
(藤澤・山岸)

